

北海道太平洋生コン（北海道函館市）の若手男性社員がこのほど、地元ラジオ局の番組で「生コンの世界」の魅力について熱弁をふるった。元高校球児が業界を志した理由や大規模プロジェクトに携われる仕事の醍醐味を披露し、リスナーを魅了した。

9月20、21日に道内21のコミュニティFMで放送された、地域情報番組「大山慎介の復活！北海道」に電話出演したのは北海道太平

ラジオで生コンPR

北海道太平洋 地元局で醍醐味語る

洋生コンの米田弘樹さん。パーソナリティの大山氏と約10分間トークを繰り広げた。

鹿部町出身の米田さんは33歳。地元の函館



工業高校で硬式野球部に所属し、チームの主力として道大会ベスト4進出にも貢献した。卒業後は函館小野田レミコン（現北海道太平

洋生コン）に入社。現在、北海道新幹線工事向け専用会社、北渡島生コンクリートに出向し、八雲工場で試験業務に携わっている。

番組では、生コン業界に入った理由について「学校の授業で生コンに触れたことがあったから」と説明。仕事の難しさとして、生コンの品質確保をあげ「砂の粒の大きさや形状、気温、湿度に左右されるので、バラツキがないよう日々努力している」と語る一方、

「（生コンについて）知れば知るほど繊細」と魅力も伝えた。

米田さんは今年、コンクリート診断士の資格を取得した。生コン業界を目指す若者へのメッセージとして「日々勉強した知識が自信になり面白い。生コンは様々な技術が結集して製造され、それが建築物や構造物として見られ、やりがいを感じる」とPR。「少しでも興味があれば、一緒にこの瞬間を感じてほしい」と呼びかけた。